

各種奨学団体奨学生 募集一覧表（直接民間団体等へ申請する奨学金）の詳細

奨学団体名	【2-41】 公益財団法人 戸部眞紀財団
給付/貸与	給付
支給金額/貸与金額	学部生：月額60,000円 大学院生：月額70,000円
支給期間/貸与期間	2026年4月1日～2028年3月31日 2年間
採用人数	岡大推薦枠0名 全国55名程度
対象学生の課程・学年	学部3年以上・大学院生
対象学生等応募資格	<p>①日本国内の大学及び大学院で修学している者 ※ 給付対象期間（2026年4月1日～2028年3月31日）を通して日本国内の大学及び大学院に在籍していること</p> <p>②学部学生（3年生以上）、大学院学生（修士課程、博士課程） ※ 専門職課程は研究論文、またはそれに相当する課題等が修了要件になっていることを条件とする。</p> <p>③年齢が2026年4月1日現在で30才以下の者 ※ 育児・病気・自然災害等によるやむを得ない事情を抱えている場合はその限りではない。</p> <p>④上記2の対象分野で修学している者</p> <p>⑤向学心に富み、学業優秀であり、且つ、品行方正である者</p> <p>⑥学資の支弁が困難と認められる者</p> <p>⑦奨学金を得ることで、学業や研究により一層の深化、発展が期待される者</p> <p>●学部3年生以上であれば、学年に関わらず応募できます。（例：公益大学を卒業→財団大学大学院へ進学）</p> <p>●最終年度等で1年間のみ給付を希望する方も応募できます。</p> <p>●秋入学、留学等により給付対象期間が2年間に満たない方は、1年以上2年未満の期間で可とします。（判断に迷う場合はお問合せください）</p> <p>●休学期間中は奨学金の給付を休止します。</p> <p>●分野は在籍する学部・学科、研究科の名称に関わらず、対象分野のいずれかに関連する研究をしている方であれば、どなたでも応募できます。</p> <p>●家計の収入による応募制限はしておりませんが、選考過程で審査の対象になります。</p>
指導教員の推薦書	<p>必要 推薦書は指導教員にお願いしてください。</p> <p>※学長名・押印の推薦状依頼期限：2026年4月17日（金）まで 右上欄に学長の記名及び職印を押印しますので、記入が済んだ「提出書類一式のコピー」と「推薦状」を上記期限までに学生支援課へ提出すること。提出後、3～5日後にお返しします。</p> <p>※下欄に指導教員が署名捺印（または記名押印）のこと</p> <p>※必ず右上欄（学長等の職印）と下欄（指導教員の印）の両方に押印のこと</p>
奨学生の義務	<p>①奨学生は、学期毎に成績証明書を、また各年度末（3月末）までに活動報告書及び在学証明書（又は卒業証明書／修了証明書）を理事長宛に提出しなければなりません。 ※ 活動報告書を提出しない場合は、給付済奨学金の返還を求めます。</p> <p>②奨学生は隔月で奨学金振込日の概ね1ヶ月後までに奨学金受領書／近況報告書を提出しなければなりません。 ※ 奨学金受領書／近況報告書を期日までに提出しない場合は、奨学金の給付を停止又は廃止します。</p>

他奨学団体との重複	<ul style="list-style-type: none"> ●他機関の奨学金受給中、または受給予定でも応募できますが、併給不可の機関に申請中または受給中の方はご応募をご遠慮ください。 ●返済義務なしの場合でも、日本学生支援機構が行う給付型奨学金、及び学費の免除等は併給の場合でも半額とはなりません。 ●博士課程を対象とした公的な支援制度（JSPS 特別研究員、JST次世代研究者挑戦的プログラム）に採用された方につきましては、給付金額を半額（年額42万円）とさせていただきます。
応募方法	直接財団に申請すること（※財団に提出前に学長印の押印が必要です）
応募の詳細	財団HPから募集要項や申請書類等を確認してください。 https://tobe-maki.or.jp/scholarship/
応募締切	Web提出：2026年5月8日（金） 郵送：2026年5月12日（火）本財団必着 <ul style="list-style-type: none"> ・全ての書類が上記期限までに到着しない場合は審査対象外となります。 ・毎年、締め切り日を過ぎて到着する願書が何通もあります。締め切りの間際に出す場合は、郵便ではなく必ず「宅配便/配達日指定」で出してください。到着が心配な方は追跡ができる方法で発送してください。 ・住民票は郵送のみで提出してください（Web提出は不可）
連絡先	〒540-0021 大阪府中央区大手通三丁目2番21号 公益財団法人 戸部眞紀財団 事務局 ※必ずWeb提出を先に行ってから郵送をお願いいたします。 ※質問等がある場合は「お問い合わせ」よりお願いいたします。
注意事項	<p>【申請方法について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本財団では昨年度より電子申請（Web:助成業務サポートシステム）を導入しております。願書他の必要書類は「Web」及び「郵送」の両方での提出が必要となります。 ●申請者は「奨学金申請」より申請サポートシステムに入り、「申請の流れ」に従って基本情報を登録し、「マイページ」を取得してください。 ●マイページ内で必要項目を入力後、「提出」ボタンで申請してください。 ●「願書」及びその他の必要書類（押印が必要な書類は押印したもの）（住民票を除く）はすべてPDFにしてアップロードしてください。 <p>【願書について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●願書はweb基本情報登録、基本情報excelファイル、word願書の3種類ありますのでご注意ください。 ●願書及び推薦状は、必ず記載例を確認し、誤りのないように記入してください。 ●願書には2026年度の学年を記入してください。 ●ページ数の増減や様式の変更は認めません。基本情報excelファイルについては小さいフォントの使用、及びページ数が増えない範囲で行の追加も可とします。 ●word願書は図表の挿入は自由です。 ●願書は日本語で記入してください。採用後の連絡もすべて日本語で行います。 <p>【添付書類等について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●在学証明書は2026年4月1日以降に取得した新学年の証明書を提出してください。 ●成績証明書は、学部学生は入学からの累計のもの、大学院学生は学部時代を含め

前年度までの全成績証明書を提出してください（修士課程1年・博士前期課程1年は大学院の成績証明書は提出不要）。

尚、編入者は編入前（高等専門学校や短期大学も含みます）の成績証明書も併せて提出してください。留学生で原本の提出が困難な場合はコピーでも可とします。

- 住民票は、本人のみの記載で、本籍を省略したもので結構です。外国籍の方（永住者・留学生など）は、国籍・在留資格・在留期間・在留期間満了日の記載のあるものを提出してください。
- 学会発表及び論文投稿について、別紙にて一覧の添付を可とします。（記載例参照）
- 芸術分野の方は参考資料の添付を可とします。（但し、A4用紙3枚以内）

【その他】

- 上記のルールが守られていない願書（記載例に従っていないもの）、及び書類不備（記入もれ、書類不足等）は審査対象外といたします。
- 応募書類は返却いたしませんので、必要な方はコピーをお取りください。
- メールアドレス等の連絡先は、当ホームページに登録した基本情報と同じものを記載してください。
- 採用決定後に前年（1月～12月）の世帯収入がわかる令和7年度の所得（課税・非課税）証明書を提出していただきます。
願書2ページ目「年収」欄の金額と、所得証明書の金額との差異が大きい場合は、失格となる場合があります。

外国人留学生で所得証明書が入手困難な者はその限りではありません。